

# 「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成23年1月現在、121団体が加入しています。

今回は平成22年10月8日・9日・10日に開催された「川に学ぶ体験活動全国大会」等を中心にご紹介します。

## 【第10回川に学ぶ体験活動全国大会inかごんま】

平成13年から続く「川に学ぶ体験活動全国大会」は、今年、鹿児島県薩摩川内市をメイン会場に開催されました。

1日目の基調講演では九州地方整備局長を歴任された岡山和生さんをお招きし、「川に学ぶ体験活動の10年とこれから」と題して、河川法の改正後「川に学ぶ」社会づくりに関連する取組みや現在の課題などを分かりやすくご講演いただきました。最後には、私の夢として、「縦割り科目ではない体験活動の義務教育化」や「国に頼らないで当該分野のNPOが運営できる仕組み」、そして「今の川ガキジュニアが指導者になり、いずれは社会の様々な分野でリーダーになり、社会全体を変えてくれる人」となってもらいたいという、3つの夢が紹介されました。

基調講演の後は、川内川流域の5つのコースから選択できる「体験プログラム」。安全講習や沢登り、外来魚を釣る

コースなど実技系のコースや、ダム見学やついで川に入って学ぶコースから、河川改修や



〔ラムサール条約登録湿地「蘭牟田池」〕

の見学系コース（上写真）があり、それぞれに別れて川内川流域の見所を堪能しました。変り種の「宇宙の旅」と題するコースでは、川内川の上流域に設置されている「天文広域精測望遠鏡」（右写真）を見学し、壮大な三点観測の仕組み等の解説がありました。今では天文学を目指す学生でさえ理論を実感

できるだけ自然体験が少ない様で、幼少の頃からの自然体験が科学の分野でもとても重要だということも紹介されました。そのお話を再度懇親会の席で、このコースのご担当だった鹿児島大学の面高先生から紹介された時には、会場から大きな拍手で迎えられ、今



〔天文広域精測望遠鏡〕

後も益々がんばろうという意気込みを居合わせた方々で共感しました。

2日目の全国の活動事例発表は、3つのテーマ毎に分科会形式で行いましたが、その後行った全体会では、各分科会

でのワークショップのまとめが紹介され、特に「河川学習・活動拠点」に関する分科会からは、地域の川の学習拠点と



〔活動事例発表・全体会〕

して多くの学校や地域住民に利用されている実態等が報告されました。今後もさらなる工夫を凝らして、利用者の視点で有意義なサービスを継続して提供していける体制づくりが望まれています。

今回の全国大会では、プレイベントに学校連携に関する円卓会議と、流域首長サミットを併催しています。川を活用した青少年教育や学校教育などに関する地域の関係者が集うことで、当該開催地域で今後益々川の有効用の促進されることも期待されています。

平成23年度の「川に学ぶ体験活動全国大会」は趣を新たにして、神奈川県横浜市の鶴見川流域を舞台に、9月17日～19日に開催の予定です。

## 〈川に学ぶ体験活動協議会〉

東京都中央区新川2-10-6 カヤヌマビル703号

TEL.03-5542-7577 FAX.03-5542-7578

<http://www.rac.gr.jp>